

(3) 大学院

大学院教育

- ・講義（特修科目）

大学院の各講義科目は受講者数が少ないため、感染対策を徹底したうえで対面で開講されたものが多く、新型コロナウイルスの影響は比較的小さかった。

- ・大学院生の研究活動（主要科目、研究指導科目：修士研究、博士研究）

感染対策を講じた上で、通常通り継続実施された。

大学院入試

以下のように、大学院入試に対する新型コロナウイルスの影響は比較的小さかった。推薦入試、秋入試、春入試ともに、感染対策を講じた上で、対面で実施された。

その他

- ・理学研究科新入生ガイダンス（令和4年4月1日）

令和3年度同様に対面で実施した。学位取得に向けたスケジュールや修学のための支援制度等について、要点を絞って説明を行った。

- ・日本学生支援機構奨学金返還免除推薦候補者審査会（ヒアリング）

従来通り対面で実施することで進めた。急な体調不良等で出席できない人のためのオンライン面接も可としたが、全員対面で実施することができた。

- ・大学院生海外発表支援

全学的に申請者が少なく、理学研究科からは2次募集も含め2名の申請者があり、全員が採択された。